

知立市長 林 郁 夫 様

居心地が良く歩きたくなるまちなかの
形成の実現に向けた政策提言書

令和6年7月29日

知立市議会

議 長 小 林 昭 弼
建設水道委員長 中 島 清 志

令和6年7月29日

建設水道委員会

居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成に向けた政策提言書

「100年に一度のまちづくり」として知立駅周辺エリアでは、知立駅付近連続立体交差事業や知立駅周辺土地地区画整理事業、市街地再開発事業、街路事業が進んでいる。また、現在、ハード面の整備に合わせ、知立駅周辺エリアの賑わいの創出や魅力向上を図るため官民連携のまちづくりに取り組んでいくことが必要という考えのもと、知立駅周辺エリアプラットフォーム事業が実施されている。さらに、国では、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指し、ウォーカブルなまちづくりを推進している。

こうした中、建設水道委員会においては、「居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成に向けた取り組みについて」をテーマに調査・研究をしてきた。当市においては、ウォーカブル推進都市の登録をしているが、都市再生特別措置法に基づく滞在快適性等向上区域を設定してはいない。本委員会では、滞在快適性等向上区域を知立駅と知立駅周辺の拠点施設であるリリオコンサートホール、知立西新地地区市街地再開発事業内及び知立駅南土地地区画整理事業内の拠点となる公共施設、駅前広場、駅前公園、堀切公園をその区域内と定め、歩行者の回遊性向上、滞在時間の増加、魅力的な空間や新たな賑わいの創出を目的とした、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成に向け、以下の政策提言を行う。

1. 政策提言

第1 歩行者利便増進道路（ほこみち）を導入すること

第2 知立駅南交通広場へのトランジットモールを導入すること

第3 知立駅南土地地区画整理事業内に民間の活力を活用した公共施設を整備すること

理由書

居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成は、まちなかを車中心からひと中心の空間へと転換し、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場へと改変する取り組みが進められている。

また、これらの取り組みは、ひと中心の豊かな生活空間を実現させるだけでなく、以下のような地域課題の解決や新たな価値創造につながる。

- ①歩行機会や交流機会が増加することで、フレイル予防となる歩行主体の生活の促進により、健康寿命の延伸につながる。
- ②安全に歩ける歩行空間を確保することで、そぞろ歩きをしながら街を楽しむ人が増え、まちなかに賑わいが生まれる。
- ③民間建物と公共空間が一体的に活用され、居心地の良い空間となる中心部での目的地の選択多様性の創出と回遊によるエリア価値の向上につながる。

第1 歩行者利便増進道路（ほこみち）を導入すること

歩行者利便増進道路（ほこみち）制度は、道路管理者が、指定要件を満たす場合に、管理する道路を「歩行者利便増進道路」として指定することができるものであり、路線内に「利便増進誘導区域」を設定することで、歩行者の利便の増進に資する施設として、広告塔や看板など景観形成に寄与するもの、ベンチや街灯などの工作物で利便増進に資するもの、食事施設や購買施設など利便増進に資するもの等へ道路占用を柔軟に認めること。

第2 知立駅南交通広場へのトランジットモールを導入すること

トランジットモールとは自動車の通行を制限し、歩行者と公共交通機関のみが通行できるように整備された街路である。知立駅周辺整備等の実施により交通結節機能の改善が図られ、合わせてトランジットモール化で公共交通の乗継の利便性が向上するとともに、一般車両との動線交錯は解消され、公共交通の円滑な運行を実現すると同時に、安全でゆとりのある歩行・環境空間を創出すること。

第3 知立駅南土地区画整理事業内に民間の活力を活用した公共施設を整備すること

知立駅南土地区画整理事業は、知立駅付近連続立体交差事業の事業効果を更に高めるため、知立駅の南北の交通環境を一体的に改善すると共に、魅力ある都市空間を形成させるための都市機能の更新を図ることを目的としている。知立駅南土地区画整理事業内の公共施設については、民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、知立市の玄関口としてふさわしい魅力と活力のある施設を整備すること。

〈 政策提言書提出までの経緯 〉

年月日	内容
令和５年１２月１５日	取組テーマの選定
令和６年　３月　８日	先進地視察先・視察内容の決定
令和６年　４月１０日	先進地視察での調査項目の検討
令和６年　５月　７日	先進地視察（奈良県桜井市）
令和６年　５月　８日	先進地視察（兵庫県姫路市）
令和６年　６月１９日	先進地視察報告の取りまとめ
令和６年　６月２１日	政策提言内容の調整・当局ヒアリング
令和６年　６月２４日	政策提言内容の調整
令和６年　７月　８日	政策提言書の調整
令和６年　７月２９日	政策提言書の市長への提出

〈 建設水道委員会委員構成 〉

委員長　中島　清志
 副委員長　杉浦　弘一
 委員　久世　泰男
 委員　岩城　道雄
 委員　兼子　義信
 委員　中野　智基